

(3) 年 教科【 国語 】

使用教科書	教育出版 伝え合う言葉 中学国語3		
学習の目標 ・ねらい	・社会生活に必要な国語についてその特質を理解し、思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにし、その能力の向上を図る態度を養う。		
年間の授業内容	前期	4月 「春に」 「立ってくる春」 5月 「私」 「吳音・漢音・唐音」 「和語・看護・外来語」 6月 「構成を工夫して主張をまとめる」 「メディア・リテラシーはなぜ必要か」 「熟字訓」 7月 「AIは哲学できるか」 「助詞のはたらき」 9月 「和歌の調べー万葉集・古今和歌集・新古今和歌集ー」 「異字同訓」	【ここまで前期中間範囲】 【ここまで前期期末範囲】
	後期	10月 「async同期しないことー」「問い合わせる言葉」 「説得力のある批評文を書く」 11月 「助動詞のはたらき」 「慣用句とことわざ」 「最後の一句」 12月 「旅への思いー芭蕉と『おくのほそ道』ー」 「四字熟語」 書写 1月 「故郷」 「風景と心情」 2月 「意見を共有しながら話し合う」 「初恋」 「受験対策」 自己PR文を書く 表現の工夫を評価してスピーチをする 3月 「情報をまとめて作品集を作る」	【ここまで後期中間範囲】 【ここまで後期期末範囲予定】
特色ある学習など	(授業形態や副教材、および利用する機器など) 個人活動・ペア活動・グループ活動・班活動 副教材：よくわかる国語の学習3・単元別漢字3（漢字ワーク） デジタル学習教材		
評価の観点	・言葉の特徴や使い方に関する事項を身につけることができたか。（知識・技能） ・伝えたいことを整理し、相手に伝わる文章を書くことができたか。（思考・判断・表現） ・文章を読み、論理や物語の展開の仕方などを捉えることができたか。（思考・判断・表現） ・論理の展開を考えて話の構成を工夫し、聞き取った内容を評価して自分の考えを広げることができたか。（思考・判断・表現） ・主体的に国語の学習に取り組むことができたか。（主体的に学習に取り組む態度）		
評価の方法	定期テストや漢字テストの内容、プリント、ワークなど提出物の内容や提出率、授業態度、発表の内容などで総合的に評価する。		
注意事項	特になし		